

平成25年(2013年)の主な気象災害(1)

期日・期間	現象名	気象概況	被害状況
1月14日	降雪または積雪	日本の南海上を発達しながら低気圧が通過し、寒気の影響も加わり県西部を中心に降雪となった。	県西部を中心に14日未明からの雪による倒木等により、高梁、新見、井原の各市等で、のべ12,100戸もの大規模な停電が発生した。また、JR伯備線で倒木等により運転を見合わせ、26本が運休、43本の列車に遅延が発生した他、JR姫新線では10本が運休、12本が遅延となり、JR芸備線では運休2本、遅延2本が発生した。
1月17日～18日	大雪 低温	冬型の気圧配置が強まり、北部を中心に大雪となった。	17日夕方から降り続いた雪により、JR因備線では智頭駅(鳥取県)－美作加茂駅間で運転を見合わせ、9本が運休し3本の列車に遅延が発生した他、車のスリップ事故が相次ぎ、約20件発生した。このうち、真庭市の米子道では自損事故で車外に出ていた男性がスリップした車にはねられ死亡した。また、新見市では雪の重みで倒れた竹が高圧線にかかり、687戸で停電した。
1月27日～28日	大雪 低温	上空約5400メートルに氷点下35℃の寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まった。北部を中心に大雪となり、県内各地で気温が下がった。	27日から28日早朝にかけての積雪により、JR芸備線では運転見合わせにより2本の列車が運休、新幹線は架線に付着した氷の影響で始発から徐行運転による遅延(最大40分)が発生した。また、北部を中心に路面凍結によるスリップが相次ぎ、90件の事故が発生し10名が重軽傷を負った他、山陽自動車道下り線(備前－和気間)が路面凍結により4時間25分にわたって通行止めとなった。
4月6日～7日	強風	6日から7日にかけて急速に発達した低気圧が日本海と太平洋沿岸を北東に進んだため、県内各地で強風が吹いた。	強風により、JR瀬戸大橋線で運転見合わせにより始発から20本が運休し、JR西日本岡山支社管内の3路線(山陽線、伯備線、吉備線)で運休22本、遅延113本が発生した。高速道路では瀬戸中央道(児島－坂出間)で午前5時から約4時間全面通行止めとなった。海上交通では宇野港発着の小豆島フェリーが全便欠航し、笠岡港でも旅客船が全便欠航した。
4月10日～11日	乾燥 強風	高気圧に覆われ、空気の乾燥した状態が続いた。また、10日夜には気圧の谷が通過し、気圧の傾きが大きくなり、強風が吹いた。	倉敷市鴨ヶ辻山で、10日16時40分頃山火事が発生した。消防車44台、ヘリコプター2台が消火活動を行い、11日10時30分に鎮火、5haを延焼した。死者、負傷者はなかった。
5月6日	乾燥	高気圧に覆われ、空気の乾燥した状態が続いた。	5月6日13時30分頃、浅口市鴨方町本庄(遥照山)で山火事が発生し、50m×100m(50a)を焼失した。岡山県防災ヘリと地上からの消火活動により、6日17時頃鎮火した。この火事でけが人等はなかった。
6月19日～21日	大雨 強雨	中国地方から四国沖に停滞していた梅雨前線の活動が活発となり、19日夕方から21日にかけて断続的に強い雨が降り、大雨となった。	倉敷市で大雨により床下、床上浸水が各1棟あった他、井原市、高梁市、玉野市、浅口市では法面崩壊や崩土が6か所で発生した。崩土による通行止めが高梁市、玉野市で3か所発生し、倉敷市では道路の冠水による通行止めが5か所発生した。また、JR赤穂線、JR津山線、JR芸備線では短時間強雨による規制のため、運休31本、遅延87本が発生した他、JR伯備線では落石警報装置が動作したため、運休2本、遅延16本が発生した。
6月26日	大雨 強雨	梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、26日明け方から昼頃にかけて短時間に強い雨が降り、大雨となった。	浅口市で大雨により路肩が陥没した道路に車が転落したが、運転手に怪我はなかった。吉備中央町では農業用車庫の裏側の水田法面が崩壊し、車庫が全壊した他、井原市でも市道の路肩が崩壊し土砂が住宅に流れ込んだ。また、総社市、笠岡市、矢掛町、新見市では崩土や落石等による通行止めが4か所発生し、早島町、倉敷市、総社市では道路の冠水による通行止めが9か所発生した。
7月3日～5日	大雨 強雨	日本海の梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が流入し、3日から5日にかけて断続的に強い雨が降り、大雨となった。	高梁市では5日、国道180号線で幅1.4m、重さ約3トンの石が走行中の車を直撃し、車を運転していた50代女性が割れたフロントガラスの破片で軽傷を負った。また、JR伯備線では3日、倒木が架線にかかり運転を見合わせ運休6本、遅延25本が発生した他、4日はJR姫新線で雨による規制のため、運休2本が発生した。
7月15日	大雨 強雨 雷	上空の寒気と南からの暖かく湿った気流の影響で大気の状態が非常に不安定となり、局地的に積乱雲が発達し、解析雨量では真庭市付近で午前10時までの1時間に約100ミリの猛烈な雨となった。	短時間強雨により床下浸水が真庭市で31棟、新見市で6棟発生した他、真庭市を中心に崩土や落石、道路の路肩崩壊や陥没、冠水が相次いだ。このため通行止めが24か所発生し、岡山・米子自動車道でも上下線で一時通行止めとなった。交通機関ではJR津山線、姫新線で降雨による規制のため、運転を見合わせ、運休14本、遅延19本発生した。また、落雷により美咲町で林野火災が発生し小屋が焼失した他、JR宇野線の備前西市駅で踏切警報機が故障し、遅延9本が発生した。真庭市で39名が自主避難した。
7月31日	竜巻 強雨 雷	暖かく湿った空気が流入し、日射の影響も加わり大気の状態が非常に不安定となり、局地的に活発な積乱雲が発生した。	31日14時30分頃、津山市国分寺付近で竜巻とみられる突風により、車庫の飛散やコンクリート製電柱の折損があった。また、JR津山線で短時間強雨により、JR姫新線では降雨による規制のため運転を見合わせ、併せて運休4本、遅延36本が発生した。JR津山線では落雷により踏切が故障したため、遅延6本が発生した。8月1日、岡山地方気象台は職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を行った結果、「この突風をもたらした現象は竜巻」と推定し、突風の強さはF0と推定した。
8月5日	大雨 強雨	湿った空気が流れ込み大気の状態が不安定となり、局地的に猛烈な雨となった。	局地的な大雨により、津山市を中心に高梁市、美咲町、鏡野町で床上39棟、床下273棟の浸水が発生した。この他、山がけ崩れや、家屋の一部損壊が発生した。
8月8日	強雨 雷	強い日射の影響で大気の状態が不安定となり、局地的に雷雲が発生し強雨となった。	8日16時10分頃、JR伯備線の総社駅で信号機に落雷があり故障したため、運転を見合わせ、運休33本、遅延29本が発生した。美作市や早島町では520戸で停電があった。また、総社市では道路の冠水が3か所発生した。

平成25年(2013年)の主な気象災害(2)

期日・期間	現象名	気象概況	被害状況
8月23日	強雨	日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流入し、大気の状態が不安定となり、局地的な強雨となった。	短時間強雨により、真庭市では県道の法面上部から落石があり、道路片側を塞いだ他、JR芸備線、JR因美線では降雨による規制のため運転を見合わせ、遅延12本が発生した。
8月25日	大雨 強雨 雷	中国地方に停滞していた前線が四国まで南下したため、局地的に雷を伴い大雨となった。	大雨により、倉敷市で床下浸水が2棟発生した他、津山市では市営住宅そばの法面が崩落するなど、2か所で土砂が崩れたが人や建物に被害はなかった。井原市、真庭市でも土砂崩れが3か所発生した。交通機関では、山陽新幹線が午前8時半ごろ、岡山ー相生間で約1時間に渡って運転を見合わせた他、JR山陽本線、姫新線、因美線、津山線、赤穂線で降雨による規制のため、運転を見合わせ、併せて運休39本、遅延100本発生した。また、落雷により高梁市を中心に、5市1町で併せて3,610戸で停電が発生した。
9月1日～4日	大雨 強雨	東シナ海を北上した台風第17号から変わった温帯低気圧の影響で、西日本付近に停滞する秋雨前線に向かって暖かく湿った空気が流入し、1日から4日にかけて断続的に強い雨が降り、大雨となった。	大雨により4日までに、高梁市で民家の裏山が崩れ住宅が全壊する被害があった他、高梁市を中心に4市1町で住宅への被害が13棟あり、崩土、路肩崩壊、冠水による国道や県道の通行止めは57か所となった。浸水被害は高梁市、総社市を中心に9市3町で床上浸水8棟、床下浸水112棟の被害があり、9月5日11時現在の公共土木施設被害額は5,110万円となっている。交通機関ではJR伯備線、津山線、吉備線、法面崩壊や線路冠水により運転を見合わせ、運休45本、遅延35本が発生した他、JR山陽本線、伯備線、姫新線、因美線、津山線、吉備線、芸備線、赤穂線では降雨による規制で運転を見合わせ、運休119本、遅延161本が発生した。
9月16日	強風	15日夜から16日にかけて台風第18号が日本の南海上を北上し、大型の勢力を保ったまま16日8時前に愛知県豊橋市付近に上陸した後、本州中部を北東に進んだため、県内で強風が吹いた。また、16日には広島風とみられる強風が吹き、奈義で日最大瞬間風速31.2m/sを観測した。	強風により、津山市や美作市では道路脇の木が倒れ、併せて2か所で通行止めになった他、新見市や奈義町では倒木の影響で、1,520戸が停電となった。交通機関ではJR姫新線、因美線、津山線では強風による規制や倒木の影響で運転を見合わせ、遅延22本が発生した。また、岡山空港では午前を中心に岡山ー羽田間の全日空3便と日本航空5便が欠航となった。
9月17日～23日	乾燥	高気圧に覆われ晴天が続いており、23日の実効湿度は63%であった。	23日午後JR笠岡駅の北約1キロの山林で発生した山火事は、消防車両20台、消防ヘリ2機が消火にあたり、山林約1.5ヘクタールを焼いて9月23日23時に鎮火した。
10月9日	強風	8日夜から9日朝にかけて、台風第24号が対馬海峡から山陰沖を北東に進んだため、強風が吹いた。	強風により、真庭市蒜山真加子で民家のトタン屋根が吹き飛ばされる被害があったが、けが人はなかった。また、JR瀬戸大橋線では、9日始発から橋上の強風に備え、児島ー高松間で特急、快速など上下計17本が運休、部分運休となった。
10月16日	強風	15日夜から16日朝にかけて、台風第26号が紀伊半島の南海上から関東地方沿岸を北東に進んだため、北よりの強風が吹いた。	強風により、真庭市八束地内で市営住宅1棟(2世帯)のトタン屋根が吹き飛ばされる被害があったが、けが人はなかった。また、津山市、真庭市の県・市道で倒木による通行止めが4か所あった他、真庭市では小学校体育館屋根の捲れ上がりや旧川上村庁舎車庫のシャッター破損があった。交通機関では、JR因美線の東津山駅ー智頭駅(鳥取県)間で強風による運転規制のため、運休6本、遅延4本が発生した。
10月24日～25日	大雨 強雨	24日から25日にかけて西日本の南岸に停滞する前線に向かって、台風第27号からの暖かく湿った気流が入り、前線の活動が活発となったため、大雨となった。	大雨により、笠岡市、岡山市、吉備中央町、美咲町、井原市で土砂崩れや法面崩土、落石が併せて7か所発生した他、総社市、赤磐市では道路損壊が2か所発生した。また、総社市を中心に県・市道の道路冠水が7か所発生し、倒木を含めた道路の全面通行止めが10か所あった。交通機関ではJR姫新線、芸備線、因美線で降雨による規制のため運転を見合わせ、併せて運休14本、遅延56本が発生した。
11月25日	その他(雨)	日本海の低気圧からのびる寒冷前線が25日朝から昼過ぎにかけて中国地方を通過したため、県内全域でまとまった雨となった。	25日19時頃、新見市長屋の国道180号線沿いの斜面で土砂崩れが発生し、通りかかった乗用車が土砂に乗り上げて横転、運転していた男性がガラスで軽傷を負った。